

第4号 菊池環境保全組合立 環境工場等建設の取組み

菊池環境保全組合立環境工場建設用地選定委員会
及び機種検討小委員会 広報



東部清掃工場



楽善埋立処分場

- 菊池環境保全組合立環境工場建設用地選定委員会
- 菊池環境保全組合立環境工場建設に係る機種検討小委員会
- 菊池環境保全組合
- 構成市町／菊池市(旧泗水町)・合志市・大津町・菊陽町
- 平成23年3月

問い合わせ先：菊池環境保全組合 総務課 TEL096-293-2555

菊池環境保全組合では、今までお知らせしてきましたとおり、第2段階として「菊池環境保全組合立環境工場建設用地選定委員会」及び「菊池環境保全組合立環境工場建設に係る機種検討小委員会」を設置し、環境工場等建設に向けて取り組んでおります。その経緯は次のとおりです。

■「菊池環境保全組合立環境工場建設用地選定委員会」経過報告

(1) 平成22年12月3日に第1回の委員会を開催し、委員長・副委員長の選出と委員会概要説明を行いました。

本委員会では、4ヶ所の候補地区について、各候補地区の抱える諸事情等を念頭に必要に応じた調整を行うとともに、現時点において可能な範囲の簡易調査を実施し、その調査結果や各候補地区の地形等を考慮した土木工事や施設配置等の基本的な条件を整理して、最終的な建設用地の絞り込み検討を行ってまいります。その後、建設用地として決定した候補地は、「環境アセスメント(熊本県環境影響評価条例に基づく環境影響評価)」を行います。

(2) 平成22年12月10日に第2回の委員会を開催し、候補区域選定委員会より答申された4ヶ所の候補地区の現地踏査並びに本組合立東部清掃工場及び環境美化センターの視察を行いました。

(3) 平成23年1月14日に第3回の委員会を開催し、各市町候補地区の概況と課題を整理しました。

①泗水地区(菊池市)

菊池市の候補地区である「泗水地区」については、菊池市内の旧泗水町南東部端に位置する約11haの地区であり、北側に「住吉工業団地」が存在するとともに、南側に「東沖川」を挟んで「永工業団地」が存在しています。

候補地区へのアクセス路は、「国道325号」から約1km、「県道329号(県道原・植木線)」から約1kmと幹線道路から離れているため、市町村道がアクセス路となります。

候補地区の地形は、ほぼ平坦な農地であり、周辺を丘陵地の林地に囲まれているため、周辺からの目隠し効果もあると考えられます。

なお、建設用地となった場合、現地踏査において地区の頭上に「高圧線」が通っている状況であり、高圧線と煙突等の調整等が必要になると考えられます。

②合志地区(合志市)

合志市の候補地区である「合志地区」については、合志市東部端に位置する約11haの地区であり、候補地区の西側に隣接して「県道316号(県道住吉・熊本線)」が通っています。

候補地区の地形は、緩やかな丘陵地の林地であり、航空写真からは極僅かな農地も確認されます。候補地区の北側に若干の同様の林地が存在しているだけで、南側及び東西側は農地が隣接しています。

建設用地となった場合、候補地区のほとんどが林地であるため、周辺部を緩衝緑地として保全することによって周辺からの目隠し効果もあると考えられます。

なお、近くに河川がないため排水路の確保について調整等が必要になると考えられます。

③大津地区(大津町)

大津町の候補地区である「大津地区」については、大津町最西部付近に位置する約10haの地区であり、候補地区の南側境界が合志市界及び一部菊陽町界に接しているとともに、南側に近接して「日向川」が流れています。

候補地区へのアクセス路は、候補地区の東側約500mに「国道325号」が通っていますが、隣接した幹線道路がないため、現状は国道325号から市町村道を通っての接続となります。候補地区の地形は、緩やかな丘陵地の林地であり、航空写真からは極僅かな農地も確認されますが、候補地区の周辺は同様の林地が存在しており、候補地区の南側に農地が隣接しています。

建設用地となった場合、候補地区のほとんどが林地であるため、周辺部を緩衝緑地として保全することによって周辺からの目隠し効果もあると考えられますが、国道325号から市町村道を通っての接続となることが考えられ、その際に道路拡幅等も必要と考えられます。

なお、図面上からも分かるとおり、候補地区の南西側に意見書が提出されている「セミコンテクノパーク」がもっとも近接した候補地区であるため、「セミコンテクノパーク」との意見調整等が必要となると考えられます。

④菊陽地区(菊陽町)

菊陽町の候補地区である「菊陽地区」については、菊陽町北西部端の合志市との境界に囲まれた約12.2haの地区であり、候補地区南側に近接して「堀川」が流れているとともに、候補地区内の東側部分に「県道138号(県道辛川・鹿本線)」が通っており、候補地区を縦断する道路(橋梁)工事も進行しています。

候補地区の地形は、東西に細長く伸びた緩やかな丘陵地の林地であり、航空写真からは周辺がほぼ農地に囲まれていることも確認されます。

建設用地となった場合、候補地区のほとんどが丘陵地の林地ですが、東西に変則的に細長く伸びた敷地であり、候補地区内に県道等の縦横断があるため、有効平地の確保と各施設の機能配置は調整等が必要となると考えられます。

(4) 平成23年2月2日に佐賀県の佐賀市清掃工場、2月3日に玉名郡長洲町の有明広域行政事務組合クリーンパークファイブにおいて視察研修を行い、先進地における環境工場建設に係る経緯等についてご教授頂きました。

(5) 平成23年2月24日に第4回の委員会を開催し、各候補地区の概況・建設条件・課題等について「各候補地区における条件等の事前整理表」として整理し、協議を行いました。

今後については、今回の協議事項の整理や各市町の詳細な建設条件の整理、現在の課題への対応等の整理を行い整理表に追加してまとめていくとともに、建設用地の選出に向けた各候補地区の概略平面計画の検討等を行ってまいります。

「菊池環境保全組合立環境工場建設に係る機種検討小委員会」経過報告

用地選定とともに処理方式の選定を平行して行うため、平成23年1月5日に第1回の委員会を開催し、委員長・副委員長の選出と委員会概要説明を行いました。

本委員会では、人口減少が地方地域社会の問題となる現代において、隣接する熊本市を中心とした人口増加傾向を維持している本組合管内地域の将来動向を考慮し、恒久的に安定したごみ処理行政の実施を目的とし、近年の処理技術の向上を最大限に取り入れ、周辺地域との調和・共生を重視し、可能な限りの地域還元を図るとともに、周辺住民が安心できる施設整備を目指し協議を行ってまいります。

環境工場の施設整備にあたっては、以下の5つを基本方針とします。

- ①公害防止対策や地球温暖化に配慮した「**環境に優しい施設**」整備を図ります。
- ②資源回収に優れ、最終処分量の低減を図れる「**循環型社会に寄与する施設**」を整備します。
- ③日常的な施設の稼働や維持管理において「**安心かつ安定性に優れた施設**」を整備します。
- ④新たな建設用地周辺の環境を考慮し、景観等においても「**周辺地域との共生の取れる施設**」を整備します。
- ⑤近年の厳しい経済情勢を踏まえ、将来的にもごみ処理コストを可能な限り抑制していく事が必要となってきたため、建設時に要するイニシャルコスト(建設費)、稼働後の日常的なランニングコスト(維持管理費)を可能な限り抑制するとともに、効率的にごみ処理を行っていただける「**経済性に優れた施設**」を整備します。

◆機種検討小委員会の検討事項

・本委員会においては、以下の2点についての検討・協議を予定しております。

- ①新ごみ処理施設の「処理方式」等に関する事項
- ②新ごみ処理施設の「運営方式」等に関する事項

◆機種検討小委員会の構成

・専門知識を有する者

公立大学法人熊本県立大学 環境共生学部教授 篠原 亮太(委員長)
国立大学法人九州大学 大学院工学研究院 環境都市部門准教授 中山 裕文(副委員長)
財団法人日本環境衛生センター西日本支局 環境工学部部長 岩永 宏平

・関係市町の副市町長または環境担当部長

永田 明紘、高木 敏明、上田 英典、眞鍋 清也

今後も委員会の開催状況や決定事項については、広報及び本組合ホームページ(<http://www.kikunanseisou.or.jp>)に掲載しますので、皆様のご理解のほどよろしくお願い致します。